

2018年診療・介護報酬 同時改定の行方と事業所戦略

デイ周辺サービスの行方（基準緩和型、訪問、小規模多機能、サ高住 など）
基本報酬削減に対応した失敗しない保険外サービス&複数事業の展開
「顧客・スタッフ満足」×「収益増」モデルを構築

日時 2017年
9月22日(金) 10:00
16:00

講師 **妹尾 弘幸氏**
・(株)QOL サービス 代表取締役
・月刊「介護の経営と運営」総編集長
・総合介護施設ありがとう 総施設長

総合介護施設「ありがとうグループ」の特徴とは

- ①同一敷地内に地域密着型デイ6種、大規模デイ、サ高住2種3棟、グループホーム、看多機、ショートステイ、訪問介護・看護など複数事業所を運営。
- ②グループホームは入居待ち申し込みが60名超え [市内グループホーム72ヶ所]。
- ③サ高住は3ヶ月で満員、その他も満室継続 [サ高住全国平均の3倍]。
- ④介護職不足の中、施設オープンの半年前に60名もの人材を確保。
- ⑤離職率5%以下を5年以上継続し、常勤職員の9割が全国レベルの学会で発表。
- ⑥10年前より個別機能訓練加算Ⅱで推奨されている実践的環境下での生活機能トレーニングを展開。
- ⑦12年前から「地域包括ケアシステム」を想定した「同一地区多種介護拠点展開モデル」を実践!

会場 **ウィリング横浜**
(横浜市営地下鉄/京急「上大岡駅」直結)

参加費 **15,000円**(税・資料代込み)

内容

1. 介護保険制度・介護報酬・診療報酬同時改定のポイント

- (1) 改定について、そのポイントを明瞭・簡潔に提示
- (2) 介護報酬改定の大胆大予測

2. 事業所戦略の基本的視点・視野・視座

今後推進される「地域包括ケア」(「地域ケア」と「包括ケア」)の視座から介護事業を視点として、保険外サービスまでを視野に入れてそのポイントを講義します。

3. 事業展開論(Ⅰ) 今後成長する介護サービスはこれだ!

- (1) 介護サービスはこの組み合わせが有望
- (2) 介護サービス+介護保険外サービスはこの組み合わせが有望

4. 事業展開論(Ⅱ) デイサービス・デイケアの戦略

- (1) デイサービス・デイケアの事業展開に関する基本知識
- (2) 【デイケア】リハビリ機能の明確化・強化
- (3) 【デイサービス】自立支援の強化、家族の負担軽減強化、新しいデイ機能
- (4) デイをどう展開し、何と組み合わせるか

5. 事業展開論(Ⅲ) 予防事業参加をどう考えるか

- (1) 予防事業の基本知識
- (2) 「参加失敗例」と「参加成功例」
- (3) 予防事業にどうかかわるか

6. 事業展開論(Ⅳ) その他のサービス

- (1) サービス付き高齢者住宅・住宅型有料老人ホーム
- (2) グループホーム
- (3) 小規模多機能、看護小規模多機能
- (4) 訪問系
- (5) その他

7. 事業展開論(Ⅴ) 共生型サービスについて

- (1) 共生型サービスの基本知識
- (2) 事業展開をどう考えるか

8. 事業展開論(Ⅵ) 事業戦略最大の課題は職員確保

- (1) 職員確保・定着・育成の考え方
- (2) 確保・定着・育成で成功している事業所の具体例
- (3) 介護分野にも押し寄せてくる「働き方改革」
- (4) 外国人活用の限界とその後に来る恐怖

9. 改定まであと半年! 6か月間で行うこと

今後6ヶ月で行う、具体的活動事項を伝授いたします。

10. 介護トピック

セミナー当日時点での最新情報をお伝えします。

2018年診療・介護報酬同時改定に伴う事業戦略セミナー お申し込み書 **FAX 084-948-0641**

ふりがな	TEL (個人・法人)	FAX (個人・法人)
参加者名	携 帯	PCメール (必須)
請求先・書類送付先住所	(□法人 □個人*どちらかに/をつけてください) 〒	
法人名	職 種	経験年数
職場種別	デイケア ・ デイサービス ・ 特養 ・ 老健 ・ グループホーム ・ 小規模多機能 ・ 他 ()	

定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください(上記個人情報は、本件講座の管理・運営に関してのみ使用します)

お問合せ 721-0902

広島県福山市春日町浦上1205(株)QOL サービス内 **日本通所ケア研究会事務局** TEL 084-971-6686
研究会ホームページ <http://www.tsuusho.com/> メール info@tsuusho.com FAX 084-948-0641

裏面に現場向けシーティングセミナーの案内があります!ぜひご覧ください→